

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.42

2020 11月 - 2021 1月

2020 11/10 発行

TAKE FREE

Close Up

オールスター 紅白オペラ歌合戦 2020

美しき日本のうた「桜」

ほか

Sinfonia

シンフォニア

指揮
三ツ橋敬子
Keiko Mitsuhashi

第九 「歓喜の歌」

BEST OF BEETHOVEN スペシャル!!



ソプラノ 白石優子



テノール 小餅谷哲男



アルト 長谷川明莉



バス 武久竜也

き」(第九)を指揮した本番は大学院1年生の時、アマチュアオーケストラとの共演だった。「第九」についてはこう語る。

「交響曲に初めて人の声が入り、歌詞があり、その歌詞を選択したベートーヴェンの思いや言葉のもつメッセージとその力を、私たちは認識して歌わなければならないと思っています。また、ストーリー性の強い交響曲です。『第九』のメッセージは、何かと戦って勝つことではなく、もっと普遍的な人類のつながりが強く描かれていると思うのです。第4楽章へといたる長いトンネルには意味があり、そ

れがあるからこそ、その先の光はさらに輝くし、人と人とのつながりもあり貴重だと感じられるのです」

この公演では、合唱は24人でオーケストラも小編成となる。

「ベートーヴェンのスコアから判断して、決して小さすぎる編成だとは思いません。編成が小さいということは、一人ひとりの責任が分散されなくなるので、楽器を弾く人や歌う人は大変だと思えます。そういう意味では、それぞれの個性がより際立って見えてきます。合唱も、大人数のなかでは一人ひとりの声の色や歌い回し、やりたいことなどが、反映されにくい



と思います。なので、大人数で歌うよりも、個々の機動性をよりはっきりと示すことができるのではないのでしょうか」

共演する日本センチュリー交響楽団について。

「応用力のあるオーケストラです。ハイドン・マラーのシリーズなど、いわゆる古典派の音楽にチャレンジしているオーケストラですので、(第九)の共演はやりがいがあります。今までの飯森さんとの蓄積も大きな財産になっていると思います」

舞台上で作った音楽をそのまま堪能していただける

三ツ橋は、ザ・シンフォニーホールの指揮台に何度も立っている。

[指揮]三ツ橋敬子 [ソプラノ]白石優子
[アルト]長谷川明莉 [テノール]小餅谷哲男 [バス]武久竜也
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団
[合唱]ザ・シンフォニーホール コーア

ベートーヴェン 交響曲 第9番 二短調「合唱付き」 op.125

2020.12/2(水) 7:00PM ※第2楽章と第3楽章の間に休憩があります。

S 8,800円 A 6,600円(税込)

[お問合せ]センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311

[主催]公益財団法人日本センチュリー交響楽団/ザ・シンフォニーホール

発売中

(取材文 道下京子)

「とても良い響きのホールで、ここならではの響きもしっかりと感じられます。舞台上で作った音楽を、そのままお客さまに堪能していただけるホールです。演奏している間も、客席で聴く音色を想像しやすいステージなのです」

演奏会へかける意気込みをこのように語る。

「今年だからこそ聴けるこの特別な『第九』：ベートーヴェンのメッセージを皆さまにお伝えできるよう、気持ちこめて演奏しますので、ぜひいらしていただければ嬉しいです」

COLUMN

新しい可能性、
魅力を秘めた「第九」。
このコンサートに
ワクワクする!

新型コロナウイルス感染症の影響で、大勢で歌う例年どおりの「第九」の開催はなかなか難しい状況ですが、そんな中で行われるこの公演で誕生するのが、24名から成る合唱団「ザ・シンフォニーホール コーア」です。今回のように少人数の合唱となれば、一人ひとりがそれぞれの技術を最大に活かし、「第九」の特徴である高い音を美しい声で歌うことが必須。

出演する24名は、「第九」のソリストを務めたこともある方もいらっしゃるなど、メンバー全員が技術の高いプロの声楽家なのでとても期待が大きいですね。

今回は美しい音を遠くまで届ける、ということが一番意識して歌ってもらおうと思っています。少人数だからこそこの個々の機動力にも注目です。圧倒的な歌声でホールの空間を満た

す例年の「第九」とはまた違った素晴らしさ、未知数の魅力をお客様に感じていただける、とてもいい機会だと思います。

軽やかさ、繊細さが際立った純度の高い美しい歌声が、響きの良いザ・シンフォニーホールの空間を満たしていくと思うと、今からワクワクします!

コーラスマスター 石原祐介 氏



撮影上田 愛

ベートーヴェン生誕250周年記念プロジェクト
日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール

BEST OF BEETHOVEN 「歓喜の歌」 BBスペシャル!!

コロナに打ち勝つ!
静寂と至福の第九

BEST OF BEETHOVEN
とは――?

日本センチュリー交響楽団とザ・シンフォニーホールがベートーヴェン生誕250周年イヤーに繰り広げるシリーズコンサート。通称「BB」。2020年8月にピアニスト 横山幸雄を迎えたBB Vol.1「皇帝」、9月にヴァイオリニスト 竹澤恭子を迎えたBB Vol.2「英雄」。2021年2月には横坂 源、関本昌平、郷古 廉を迎えるBB Vol.3「運命」を開催する。ここで紹介する「歓喜の歌」はBBのスペシャル版。



指揮 三ツ橋敬子 インタビュー

Interview

日本センチュリー交響楽団による小規模編成のオーケストラとともに、4人のソリスト、少数気鋭のプロの歌手たちによる合唱団「ザ・シンフォニーホール コーア」がご贈りする、他ではなかなか聴くことができない希少な「第九」。ここでは、このコンサートが今年指揮を務める唯一の「第九」だという三ツ橋敬子のインタビューをお届けします。

「首相官邸の昼食会に招いていただき、私はラビン首相が鳴らしたピアノの4つの鍵盤をもとに、ピアノで即興演奏しました。とても喜んでくださり、首相と奥様が抱擁してくださいました。けれど、お会いした4日後にラビン首相は反和平派の青年の銃弾で命を落としてしまったのです。人の命が一瞬にして失われてしまふなんて、と自分の思春期の価値観のようなものが揺らぎ、将来何を目指していったら良いのだろうと、改めて自分に強く問うきっかけになりました。同時に、音楽で人と心が通じた経験が鮮烈によみがえってきたのです。直接的に音楽で人の命を救うことはできないけれど、音楽には大きな力があるのではないかとの思いに駆られ、私は自分の一生を音楽に捧げようと思いついたのです」

海外で暮らし、学んだことは、彼女の音楽人生の大きな転機となった。

「日本を出て海外で勉強したことは、私自身の価値観を大きく変えた要因のひとつです。私が学生の頃は、日本ではまだ女性指揮者は少なかったのです。一方で、当時ヨーロッパの社会では女性のトップはかなりの多く、彼女たちは鎧を着て戦っているわけではありませんでした。そのような価値観に接し、自分の在り方をもう少し広く捉えられるようになりました」

第九には普遍的な人類の
つながりが強く描かれている

はじめて《交響曲第9番「合唱付

ベートーヴェン生誕250周年
日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール

BEST OF BEETHOVEN

BB Vol.3 「運命」

feat.BB Vol.3

ヴァイオリン 郷古 廉 インタビュー Interview

チェロ 横坂 源

ピアノ 関本昌平



ヴァイオリン 郷古 廉

©Hisao Suzuki



チェロ 横坂 源



ピアノ 関本昌平



©Hisao Suzuki

第1弾 横山幸雄、第2弾 竹澤恭子に続くのは 「個性を出しながら愉快に遊ぶ」トリオ

ベートーヴェンが意欲的な創作活動が続けた1803〜04年に書いた、三重協奏曲。作品から感じることに、郷古廉はこう話す。

「ヴァイオリン協奏曲と作曲年代が近く、似たところもあります。が、また違った明るさがあります。2楽章は、苦しみや諦めがありながら、穏やかに人生を受け入れているかのよう。それが3楽章では、何もかも忘れて踊ろう!という雰囲気になる。精神的な安定も感じます」

特殊な編成ゆえ演奏機会は多くない。今回は、優れたソリストたちの共演で聴くことができる、貴重な公演だ。

「横坂源君とは何度も共演していますが、火がつくと急にスパークするときのあるおもしろい演奏家。関本さんとは初共演なのでとても楽しみです。3人が密接にからむというより、互いに聴き合いつつ個性を出すことで成り立つ作品。トリオの中で愉快に遊びながら、それをオーケストラにも感じてもらって音楽をつくっていく。そこにおもしろさがあります」

2019年にベートーヴェンのヴァイオリンソナタ全曲演奏シリーズを完結させたことで、ベートーヴェンをより近くに感じられるようになったという。

「何年前かで、ベートーヴェンとどう向き合ったら良いのかわかりませんでした。作品に対して、自分の人間的な未熟さが釣り合わないような気がして。でもシリーズを始めて、とにかく弾いて作品に踏み込んでいったことで、一人の人として、ベートーヴェンの人間像が見えてきたのです。同時に、偉大さをますます実感しました」

人類が新型コロナウイルスの脅威に直面する今、ベートーヴェンは「我々が今回のことで、そして長い時間の中で失ったものを意識さ

せる」という。

「それでも君たちは生きていかねばならない、立ち向かわねばならないというメッセージを感じます。ベートーヴェンは、自分を常に新しい所に追い込むことで進化した人。それは、同じ場所には二度と戻らないという決意でもある。迷いがありません。自分ではどうしようもない何かに立ち向かう精神を、彼は音で残してくれました。おかげで私たちは、生の音楽としてそれを何度も聴くことができるのです」

「ベートーヴェン以上に強い人を僕は知らない」と郷古はいう。作品が放つメッセージをしっかり受け止めたい。

(取材・文 高坂はる香)

BB Vol.3「運命」

[指揮] 飯森範親 [管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

[ピアノ] 関本昌平 [ヴァイオリン] 郷古 廉

[チェロ] 横坂 源

ベートーヴェン: ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための三重協奏曲 ハ長調 op.56 / 交響曲 第5番 ハ短調「運命」op.67

2021.2/21(日) 2:00PM

S 6,600円 A 5,500円 B 4,400円 (税込)

[お問合せ] センチュリーチケットサービス 06-6848-3311

[主催] 公益財団法人日本センチュリー交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

発売中



Interview

川井郁子

シンフォニック バレンタインコンサート ~大人の情熱~

**私にはやっぱり
この場所が必要だった！**

ヴァイオリンの多彩な魅力をドラマティックなステージで繰り広げ、絶大な人気を得ている川井郁子が、毎年冬に開催しているシンフォニックバレンタインコンサート。今回は「大人の情熱」と題して、タンゴ、シャンソン、クラシック、ミュージカル、映画音楽など、熱いパッションと哀愁に満ちたプログラムを楽しませてくれる。

「今回はバンドネオン奏者の北村聡さんを迎えて、ピアソラ作品やタンゴを中心に様々な愛の名曲を聴いていただきます。ピアソラは、私の音楽の原点。ヴァイオリンリストとしての生き方について悩んでいた時期に出会い、ジャンルを超えて自分自身の音楽を追求していこうと思うようになりました」

前半と後半の音の世界が違うのが、今回のコンサートの最大の特徴だ。

熱いパッションと
哀愁に満ちた
大人の魅力あふれる音楽

「前半は、ヴァイオリン、ピアノ、バンドネオン、パーカッションで、ピアソラ五重奏団をイメージした世界を描き出したいと思っています」

ピアソラ「リベルタンゴ」、「ブエノスアイレスの冬」、「天使のミロンガ」などを、バンドネオンの北村聡、気鋭のジャズ・ピアニスト、林正樹、世界中の音楽に精通している実力派パーカシヨニスト、クリストファー・ハーディと共に、味わい深く聴かせてくれることだろう。シャンソン「パリの空の下」は、ヴァイオリンとバンドネオンのデュオ。パリの街角のお洒落な雰囲気、会場いっぱい広がるに違いない。

「後半のステージは弦楽アンサンブルが加わり、華やかにライオネル・リッチー「エンドレス・ラブ」などを聴いていただきます。ブルック・シールズ主演の映画を観て感動した青春の思い出の一曲です。モンティ「チャルダッシュ」も、バンドネオンが入る編成は初めてですが、カッコよくて素敵なんですよ」

コロナ禍で演奏活動が中断する前の最後のコンサートが、2020年2月29日のシンフォニックバレンタインコンサート。再開後、最初のコンサートが、7月18日のライト・シンフォニック

コンサートだったという。

「どちらとも感慨深いコンサートでした。7月のコンサートは久しぶりに観客の皆様の前で弾いたのでもちよっとドキドキしましたが、最初の1曲を弾いて、ああ、私にはやっぱりこの場所が必要だった！と感じて、胸がいっぱいになりました。ザ・シンフォニーホールは、生の音が美しく響き、客席と一体感を感じることができると、素晴らしい。今回もアットホームな雰囲気の中で、大切な人を想うバレンタインの季節にふさわしいステージにしたいと思っています」

(取材・文 森岡葉)

[ヴァイオリン]川井郁子 [ピアノ]林 正樹
[バンドネオン]北村 聡 [パーカッション]クリストファー・ハーディ
[弦楽合奏団]U.F.室内アンサンブル

ライオネル・リッチー「エンドレス・ラブ」/ピアソラ「リベルタンゴ」/エンリコ・マシアス「恋心」/ビゼー「真珠採りのタンゴ」/ピアソラ「ブエノスアイレスの冬」/ピアソラ「天使のミロンガ」/モンティ「チャルダッシュ」/ユベール・ジロー「パリの空の下」/ロイド・ウェバー「アルゼンチンよ泣かないで」

2021.2/7(日) 2:00PM

S 6,050円 A 4,950円 (税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]アイケイ・オフィス/ザ・シンフォニーホール

発売中

関西オペラのスターが一挙集結! この対決を聴かずして、年は越せない!!



管弦楽 大阪交響楽団



指揮 粟辻 聡

紅組司会 八塚彩美
(朝日放送テレビアナウンサー)白組司会 堀江政生
(朝日放送テレビアナウンサー)

2020.12/27(日) 3:00PM

S 8,800円 A 7,700円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

[協力]公益社団法人大阪交響楽団/公益社団法人関西二期会/特定非営利活動法人関西芸術振興会・関西歌劇団/堺シティオペラ一般社団法人

発売中

紅組キャプテン 斉藤言子 Message

今回で3年連続紅組代表を務めさせていただくことになります。昨年は亀組(男性歌手チーム)に負けてしまいましたが、今回は奪還致します。しかし、競うということではなく、紅白一体となり、互いに刺激しあい、良い歌を皆様にお届けできることが一番の望みです。

白組キャプテン 田中由也 Message

今年の白組のキャプテンを仰せ付けられましたバリトンの田中由也です。去年還暦を迎え、キャプテンを仰せ付けかり万巻の思いです。今年の白組は若さあふれる個性の強いメンバーが集いました。舞台上で炸裂するパワーとエネルギーの饗宴にご期待下さい!

令和2年 年越しスペシャル!!

オールスター
オペラ

歌合戦

— 日本 の 日 の 出 を 願 う —

紅 白

2020

真剣勝負のドラマが
繰り広げられる

今年で3回目を迎え、公演名を『紅白オペラ歌合戦』に戻したこの名物公演は、毎年楽しみにしているファンが増え続けている。

大阪交響楽団の温かく重厚な音色とオペラ歌手の歌声が、クラシック音楽の殿堂・ザ・シンフォニーホール中に響き渡る光景は迫力があり、何度観ても圧巻だ。歌合戦だけに、途中の審査員のコメントや客席の反応により、次のステージでは出演者の「負けてられない。もっと盛り上げたい!」と奮い立つ様子が伝わり、真剣勝負のドラマが繰り広げられるのだ。

あたらしい年への希望と
エネルギーに溢れる公演

この熱い歌合戦には、『関西二期会』『関西歌劇団』『堺シティオペラ』の3団体から各団体の看板歌手が選抜される。紅組と白組各9名に分かれて、それぞれの十八番や、同歌合戦だからこそ挑戦する曲を披露する。3年連続の出演で今年も紅組のキャプテンを務める斉藤言子は、「所属団体の枠を超えて、出演者、観客が一体となる、まさに『歌の饗宴』です。一年を締めくくり、あたらしい年への希望とエネルギーに溢れる公演です。ちよっとゴージャスな年中行事として根付いてきているのではないのでしょうか」と魅力を語る。

勝敗を決するのは審査員の判定以外に、客席からも投票に参加することが出来る。ホール中に赤白の札が掲げられ、たくさんの方の笑顔に包まれた賑やかな雰囲気は、年末を祝うようで心がホッコリと温められるのだ。これまで1回目は紅組、2回目は亀組(白組)が勝利を手にしたが、果たして3回目はこちらに……

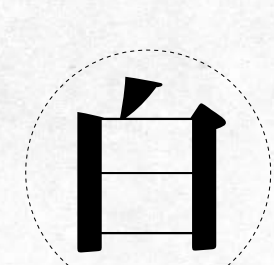
輝かしい2021年に
なることを祈りながら——

今年も誰かが経験したことがない困難に直面した一年だった。副題に「—日本の日の出を願う—」と掲げ、本公演は輝かしい2021年になることを祈りながら開催される。白組のキャプテンを務める田中由也は、「コロナ禍の中、いかがお過ごしでしょうか?我々演奏者もお客様も生の音楽に飢えています。年末にこの様なイベントが開催される事、ご尽力された関係者各位、並びにご支援くださった多くの方々に感謝です。年の瀬、ザ・シンフォニーホールで皆様とお会い出来ます事を楽しみにしております」と期待をかける。

ザ・シンフォニーホールでは、歌公演専用の飛沫防止対策がとられ、安心して楽しむことができる。豪華で楽しい歌合戦は、来年に向けて、必ず私たちの心を元気づけてくれるだろう。

(文 金子真由)

紅

▲キャプテン 斉藤言子(ソプラノ)
チレア:歌劇「アドリアーナ・ルクヴール」より 私は芸術のしもべ▲荒田祐子(メゾソプラノ)
サン＝サーンス:歌劇「サムソンとデリラ」より あなたの声に私の心は開く▲泉 貴子(ソプラノ)
ヴェルディ:歌劇「運命の力」より 神よ平和を与えたまえ▲木澤佐江子(ソプラノ)
ドニゼッティ:歌劇「ランメルモールのルチア」より あたりは沈黙に閉ざされ▲棉谷昌子(ソプラノ)
レオンカヴァッロ:歌劇「道化師」より 鳥の歌▲並河寿美(ソプラノ)
ヴェルディ:歌劇「椿姫」より ああ そはかの人か〜花から花へ▲古田昌子(メゾソプラノ)
ビゼー:歌劇「カルメン」より ハバネラ▲水野智絵(ソプラノ)
ヴェルディ:歌劇「仮面舞踏会」より ここは恐ろしい場所…あの草を摘み取って▲湯浅 契(ソプラノ)
プッチーニ:歌劇「蝶々夫人」より ある晴れた日に▲キャプテン 田中由也(バリトン)
ヴェルディ:歌劇「リゴレット」より 悪魔めめめ▲大谷圭介(バリトン)
ヴェルディ:歌劇「ドン・カルロ」より 私です、カルロ様〜最後の時が来た▲清原邦仁(テノール)
チレア:歌劇「アルルの女」より フェデリコの嘆き▲小餅谷哲男(テノール)
レオンカヴァッロ:歌劇「道化師」より 衣装をつけろ▲谷 浩一郎(テノール)
プッチーニ:歌劇「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ▲西尾岳史(バリトン)
ビゼー:歌劇「カルメン」より 闘牛士の歌▲馬場清孝(テノール)
ヴェルディ:歌劇「リゴレット」より あの娘の涙が見えるようだ▲松澤政也(バリトン)
ヴェルディ:歌劇「マクベス」より 哀れみも誉れも愛も▲松原 友(テノール)
ドニゼッティ:歌劇「愛の妙薬」より 人知れぬ涙

The Symphony Hall プレミアム コンサート Vol.4

マーラー
第5番

-日本の日の出を願う-

2021年の幕開きに
コロナ禍からの夜明けを願い
希望を謳うコンサート

指揮 飯森範親

日本センチュリー交響楽団



©s.yamamoto

作曲家の挑戦作に
気迫の演奏で応える

指揮者の飯森範親、ピアニストの関本昌平、日本センチュリー交響楽団。国内を代表する名手たちが集い、「日本の日の出」を願う公演の開催がいよいよ近づいてきた。

前半は、リストの劇的なハンガリー狂詩曲第2番からスタート。これに続くのが同じ作曲家のピアノ協奏曲第1番で、リストが関本。大阪出身の彼は、弱冠20歳の時に難関シヨパン国際コンクールで第4位入賞を果たしたが、それから早いもので15年。今やその肩書は不要なほどの成長を遂げ、国

際的に活躍する彼は、難曲として名高い本作でも、テンポ、リズム、アーティキュレーションなどの多彩な変化に楽々と対処した名演を聴かせてくれるはずだ。

そして後半に演奏されるのが、後期ロマン派の巨匠マーラーの傑作・交響曲第5番。本作は、トランペット・ソロが印象的な葬送行進曲で幕を開け、最後は華々しいファンファーレで締め括られる5楽章構成で書かれている。ひとときわが甘美で切ない聴きどころなのが第4楽章のアダージェットだ。弦楽器群とハープだけで演奏されるこの楽章の天国的な美しさは、当時結婚したばかりの妻アルマへの愛の証と言われている。感慨深い。後にルキノ・ヴィスコンティ監督の名作『ベニスに死す』に使われたことで、現在彼の音楽の代名詞にもなっている。



マーラー(左)と妻のアルマ(右)

[指揮] 飯森範親
[ピアノ] 関本昌平
[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

発売中

リスト:ハンガリー狂詩曲 第2番 嬰ハ短調 〈オーケストラ版〉/リスト:ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調/マーラー:交響曲 第5番 嬰ハ短調

2021.1/16(土) 2:00PM

S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

(文 渡辺謙太郎)

これらの3曲をお届けする飯森&日本センチュリー響の名コンビ。同響がマーラー作品を積極的に取り上げるようになったのは、14年に飯森が首席指揮者に就任してからで、その活動が19年の日本オーケストラ・ランキングで第5位に輝いた原動力のひとつになったことは間違いなく。一期一会の演奏を大切にしているが本場に「素晴らしい」という賛辞に、さらなる気迫で応える日本センチュリー響。マーラーの第5番は、今回の公演コンセプトにも、演奏者たちにもこの上なくふさわしい好選曲と言えるだろう。現在のコロナ禍の中、マスク着用など感染予防対策をとった上での鑑賞となるが、その制約の分だけ感性は研ぎ澄まされ、感動も何倍にもなるはず。ぜひご来場を!!

再起動

elegy

エレジー

未来に向けて
横坂源
チェロ・リサイタル

Interview

楽壇の未来を担う俊英が
積み重ねたすべてをもつて臨むリサイタル

©フナーミュージック・ジャパン

練習しながら頭に描くのは
ザ・シンフォニー・ホールの響き

再起動という言葉が、すべてを物語っている。楽壇の未来を担うチェリスト、横坂源が満を持して開催するはずだった2020年3月のリサイタル。それが同じプログラムのまま、ようやく実現の運びとなる。まさに待望の一夜だ。

「コロナ禍で外出も控える日々の中で、新しいレパートリーに目を向けたり、技術的課題に取り組んだり。たとえば身体の使い方にしても、次々と演奏会をこなしながら今までと違う試みをするのは難しいものです。その点では自分を見直すよい機会になりました」

ドイツ留学中の2010年に、新人の登竜門として名高いミュンヘン国際コンクールで2位受賞。並行してシュトゥットガルト放送交響楽団のアカデミーに在籍しながら、同オーケストラで客演首席チェリストまでつとめた。

「シュトゥットガルトは盆地に市街が広がり、僕の住んでいた山のほうから家々の屋根が一面に見渡せました。本当に森と自然に囲まれた環境。晴れた日でも急に雲が立ち込め、雨が降ったと思ったらまた青空……。まるでソナタ形式みたいだ！と(笑)。こんな生活感覚の中で音楽も育まれてきたのかと、認識を新たにしました」

その彼がもつか居を構えるのは、楽器の街としても知られる浜松。

「帰国後もできるだけ自然の豊かなところに身を置こうという気持ちはありました。ただ、コロナの影響で練習場に苦勞するとはまるで予定外(笑)。いつも家の近くの公民館へ足を運んでいるのですが、そこがしばらく閉鎖してしまいました……。自宅はどうしても空間的に制約があり、ホールの中で楽器が豊かに鳴るイメージを持ちにくかったりします。そして僕が練習しながら頭に描くのも、チェリストにとって理想的なザ・シンフォニー・ホールの響きなんですよ！」

ステージの前半は多彩な小品で耳を楽しませ、後半に大作を配する構成も彼が好むものだ。最後を飾るラフマニノフのソナタは、ピアノリストにとっても難曲の1つ。

「萩原さんなら何の不安もあり

[チェロ]横坂 源
[ピアノ]萩原麻未

発売中

J.S.バッハ:プレリュード ～無伴奏チェロ組曲 BWV1007 第1番より/カサド:親愛なる言葉/フォーレ:夢のあとに/フォーレ:エレジー op.24/ファリャ:火祭りの踊り/シューマン:アダージョとアレグロ op.70/ラフマニノフ:ヴォカリーズ op.34-14/ラフマニノフ:チェロ・ソナタ ト短調 op.19 ほか

2021.3/27(土) 7:00PM

全席指定3,300円 (税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

ません！ 分厚く書かれたピアノのパートに対して、チェロの歌声がどのようにバランスをとり、ホールの空間で作品の魅力を再現するか……。その首尾が今から楽しみです。暗闇の中を模索しながら差し込む光を待ち望むような曲想は、現在の僕たちが置かれた状況にも通じるものでしょう。しかし演奏する立場としては『コロナ禍の下だからこう弾く』というのではなく、音楽をする日常が戻ってきたところに、今まで積み重ねてきたものを聴いていただくと、そんな姿勢で臨みたいと思っています」

(取材・文 木幡一誠)

クリスマス アヴェ・マリア ～世界を繋ぐアヴェ・マリア～ 砂川涼子 ソプラノ・リサイタル

世界で愛される祈りの旋律を聴き比べ
豊かな表現力で魅せるアヴェ・マリアの世界



©Yoshinobu Fukaya



©Yoshinobu Fukaya

【ソプラノ】砂川涼子
【ピアノ】河原忠之

発売中

カッチーニ・アヴェ・マリア／モーツァルト・アヴェ・マリア、主をほめたたえよ「証聖者の荘厳な晩課 KV339」より、アヴェ・ヴェルム・コルプス／トスティ・アヴェ・マリア／バッハ・グノー・アヴェ・マリア／フォーレ・アヴェ・マリア、ピエ・イエス「レクイエム」より／ブライスマン・アヴェ・マリア／ビゼー・アヴェ・マリア／サン＝サーンス・アヴェ・マリア／アルカデルト・アヴェ・マリア／フランク・天使のパン／ヘンデル・オンブラ・マイフ「セルセ」より、シオンの娘よ 大いに喜べ「メサイア」より／ブッチーニ・私の名はミミ「ラ・ボエム」より／ヴェルディ・アヴェ・マリア「オテロ」より／さやかに星はきらめき／ホワイ・クリスマス／きよしこの夜／星に願いを「ピノキオ」より／いつか王子様が「白雪姫」より

2020.12/19(土) 7:00PM
全席指定 4,400円(税込)
【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333
【主催】ザ・シンフォニーホール

(文) 金子真由

何百年も前から、苦難のときに人々の心を癒してきた祈り
麗しい姿と輝くような高音の歌声で魅了し、オペラ界を牽引するプリマドンナの砂川涼子。クリスマスが目前に迫る12月19日の夜、19世紀ロマン派時代を中心に、数多く作曲された「アヴェ・マリア」の楽曲から選び抜かれた9曲とクリスマス・ソングを届ける。
沖縄県出身。武蔵野音楽大学声楽科を首席で卒業し、同大学院修了。1998年に第34回日伊声楽コンクール第1位、2000年に第69回日本音楽コンクール第1位など数々のコンクールで入賞を果たす。藤原歌劇団、新国立劇場などでタイトルロールを演じ活躍している。
舞台では、役柄に真摯に向き合う

砂川の歌声や表情が、観客に物語の枠を超えて人間のリアルな心情を訴える。本公演では、オペラで培った豊かな表現力で、どのような「アヴェ・マリア」の世界観を見せてくれるのか期待がふくらむ。
今回選曲された9曲の「アヴェ・マリア」は、天上の煌めきを表すようなバッハ・グノー、荘厳な雰囲気のあるモーツァルト、語りかけてくるようなトスティ、現代曲で魂を揺さぶるようなブライスマンなどの作曲家の作品や、16世紀の作曲家アルカデルトのシャンソンを元に19世紀フランスで改編された楽曲など、名曲中の名曲から珍しい曲までが並ぶ。これまでに世界中の作曲家たちは、聖母マリア様に祝福をささげ、人々への恵みと加護を乞う「アヴェ・マリア」の歌詞に、祈りの旋律を捧げてきた。各々の国柄が漂い、当時の人々の様子を想像させ、それらを聴き比べることも楽しみの一つになるだろう。砂川は、

それぞれの祈りを瑞々しく届けてくれるはずだ。
オペラのアリアも披露され、2006年に初めてミミ役を演じ好評を博したオペラ「ラ・ボエム」以降、砂川が表現を深めてきた「私の名はミミ」や、ヘンデル「セルセ」より「オンブラ・マイ・フ」も歌われる。聖夜に捧げる曲として、「ホワイ・クリスマス」「きよしこの夜」などのクリスマス・ソングも並び、ザ・シンフォニーホールを一層清らかな雰囲気包み込むだろう。
何百年も前から、人々は抗しがたい苦難の前に、祈りを捧げて乗り越えようとしてきた。筆者は「アヴェ・マリア」を聴くと、いつも心に明るい陽光が差し込む。大変な災禍にあった一年を振り返りながら、砂川の優しく美しい歌声を聴き、光り輝く来年に向けて心癒されるひと時を過ごしませんか。



プロジェクトマッピング×パイプオルガン 超絶の クリスマス キャロル

クリスマス気分を盛り上げる、華麗なるマッピングと心温まるメロディ

【オルガン】大木麻理

ジョーンズ「もろびとこぞりて」による変奏曲 ★リンク・モーツァルトの「きらきら星変奏曲」による序奏、変奏曲とフーガ／フレンチのキャロル(He is born, the Divine Christ Child / 荒野の果てに)／ディズニー ジュエリー ボックス ★(星に願いを／ミッキー・マウス・マーチ／ハイ・ホオ／いつか王子様が／スーパーカリフラジスティックエクスピアリド・シャス／ビビディ・バビディ・ブー／アンダー・ザ・シー／ホール・ニュー・ワールド／レット・イット・ゴー／小さな世界)／レーガー・きよしこの夜 ★クリスマス・メドレー ★(神の御子は今宵しも／ホワイ・クリスマス／赤鼻のトナカイ／サンタクロースがやって来た)／バッハ・トッカータとフーガ 二短調、主よ人の望みの喜びよ ★プロジェクトマッピング付き

2020.12/21(月) 2:00PM/7:00PM

※休憩なし。約60分間のコンサートです。※2時公演：3歳以上の静かにご鑑賞いただけるお子様からご入場可能です。※7時公演：4歳以上のお子様からご入場可能です。

全席指定 各3,000円(税込)
【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中

「超絶シリーズ」は、ザ・シンフォニーホールが誇るパイプオルガンと、華麗なプロジェクトマッピングが融合した大人気企画だ。本シリーズが年末に新たに取り上げるのは、キリストの誕生を祝う「クリスマス・キャロル」。ラテン語が多かった聖歌の中で、母語で歌詞が付けられたキャロルは、子どもでも歌えて市井の人々に愛されてきた。その温かみあるメロディをパイプオルガンで味わうひと時は、ヨーロッパの教会のクリスマスを思わせる。今回は、「荒野の果てに」などフレンチのキャロルのほか、定番のクリスマス・ソングも多数プログラムされている。さらに注目したいのは「ディズニー・ジュエリーボックス」と題されたあのディズニーの名曲群。「ミッキー・マウス・マーチ」や「星に願いを」、「レット・イット・ゴー」がオルガンによってどのようなように生まれ変わるのか。ぜひ楽しみにして頂きたい。
次から次へとオルガンや壁面に登場する、冬景色やクリスマスのモチーフなど鮮やかな色合いの映像と、世代を問わず愛される音楽で心躍るコンサートとなるだろう。



ザ・シンフォニーホール クリスマス オルガンコンサート 2020

聖夜を彩るドラマティックな音楽の贈り物

【オルガン】富田一樹

J.S.バッハ・ピエスドルグ 長調 BWV572／ボエルトマン・ノートルダムへの祈り／J.クラーク・トランペット・ヴォランタリー／カッチーニ・アヴェ・マリア／バッハ・グノー・アヴェ・マリア／シューベルト・アヴェ・マリア／J.S.バッハ・我が魂は主をあがめ BWV733／J.S.バッハ・G線上のアリア BWV1068-2／J.S.バッハ・前奏曲とフーガ 長調 BWV547

2020.12/5(土)

2:00PM/7:00PM

※休憩なし。約60分間のコンサートです。

全席指定 各2,200円(税込)

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中

ホールの正面に構え、ザ・シンフォニーホールの象徴となってきたパイプオルガン。3732本のパイプを様々な音色に合わせ、まるでオーケストラを聴くような多彩な音色を作り出す。低く身体に響くような音、きらきらと宙を舞うような音、口笛を吹くような音。七色の歌声を持つこの巨大な楽器が、皆様に聖夜にぴったりのプログラムをお届けする。
フランス語でオルガン曲を意味する「ピエスドルグ」は、まさに七色の音を聴かせてくれる一曲。結婚式でも使用される「トランペット・ヴォランタリー」は華やかさと荘厳さを併せ持ち、気分が高揚する。いずれも聴きなじみのある、カッチーニ、グノー、シューベルトの「アヴェ・マリア」やボエルトマンの「ノートルダムへの祈り」は、聖夜らしい敬虔な気持ちにさせてくれる。ホール中を包み込む「G線上のアリア」のメロディは心に深く沁みこむだろう。
このラインナップをドラマティックに演奏するのは、バッハ国際コンクールのオルガン部門で日本人初の優勝を飾った富田一樹。彼ならではの、前奏曲とフーガ・ハ長調も聴きどころの一つだ。
パイプオルガンは弾き手やホールによって、まったく異なる音色を奏する。残響2秒のザ・シンフォニーホールと富田による、ここでしか作ることのできない音楽を、ぜひ聴きにきてほしい。



最も親しまれている映画音楽に新しい発見があるはず

『スター・ウォーズ』や『インディ・ジョーンズ』のテーマといった映画音楽の名曲が、パイプオルガンの荘厳な響きとプロジェクトンマッピングの華麗な映像で堪能できる人気企画「超絶シリーズ」。

2016年から始まり、チケット完売が続くこの「超絶シリーズ」に新たに加わるのが「超絶の魔女の宅急便—ジブリ映画名曲選—」だ。ここ数年、フルオーケストラによる懐かしの映画音楽を題材にした公演が人気を集めているが、日本人に最も親しみやすい映画音楽といえば、宮崎駿監督率いるスタジオジブリのアニメ映画を彩る珠玉のメロディーではないだろうか。

来年80歳になる宮崎監督は、テレビアニメの『ルパン三世』の第1シリーズ（1971〜72年）で頭角を表し、アニメ映画『ルパン三世カリオストロの城』（79年）で映画監督デビュー。

その後『風の谷のナウシカ』（84年）で注目を集め、85年のスタジオジブリ（アニメ制作会社）設立後は『となりのトトロ』（88年）や『魔女の宅急便』（89年）、『もののけ姫』（97年）といった国民的大ヒットを連発し、日本のアニメ界を支える

PROGRAM

『魔女の宅急便』海見える街 ★
 『崖の上のポニョ』崖の上のポニョ
 『となりのトトロ』となりのトトロ、さんぽ
 『千と千尋の神隠し』いつも何度でも
 『もののけ姫』もののけ姫 ★
 『風の谷のナウシカ』ナウシカ・レクイエム ★
 『ハウルの動く城』人生のメリーゴーランド ★
 『天空の城ラピュタ』君をのせて ★
 『千と千尋の神隠し』あの夏へ ★
 交響組曲「魔女の宅急便」
 身代わりジジ〜ジェフ、暴飛行の自由の冒険号〜
 おじいさんのデッキブラシ〜デッキブラシでランデブー ほか ★プロジェクトンマッピング付き

[オルガン]大木麻理

2021.5/1(土)
 11:30AM/3:00PM/7:00PM

※休憩なし。約60分間のコンサートです。※11時30分公演:0歳のお子様からご入場可能です。乳幼児のお子様(お膝の上でも)も必ず座席券をお求めください。※15時・19時公演:3歳以上の静かに鑑賞頂けるお子様からご入場可能です。
 全席指定 各3,000円(税込)
 [お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
 [主催]ザ・シンフォニーホール
 先行予約:11/19(木) 一般発売:11/22(日)

存在に。『千と千尋の神隠し』（01年）は03年に米アカデミー賞の長編アニメ賞を獲得。世界が認める映像作家の地位を獲得した。

そんなわけで、日本はもとより、世界的に高く評価されるジブリの作品群だが、それらの名場面を盛り上げる楽曲の数々が作品の質をさらに高めていることに異論の余地はないだろう。

『風の谷のナウシカ』から『風立ちぬ』（2013年）まで、約20年にわたり一貫してジブリ作品の音楽を手掛けた作曲家の久石 譲は12月6日で70歳。武満徹や黛敏郎からビートルズのような英国のロック音楽に至るまで、洋邦問わず幅広いジャンルの影響を受けた作風で知られ、古典的なクラシック音楽と欧米のロック音楽やポップス

を滑らかに融合させる手腕が評価されている大物。

とりわけ、ジブリの作品群では、そうした要素に童謡や唱歌で感じられる日本的情緒を色濃く反映させ、子供からお年寄りまで世代を超えた人々の琴線に触れる文字通り「和洋折衷」と言うべきメロディーを紡いできた。

今回の公演では、そうした名曲群が、パイプオルガンの荘厳かつ多彩な音色と、ジブリ作品を思わせるプロジェクトンマッピングの幻想的な映像によって新たな輝きを放つ。幅広い世代に向け、公演時間も午前11時30分、午後3時、午後7時と3回公演に。間違いなく新たな発見があるはずだ。

(文 産経新聞大阪本社文化部編集委員 岡田敏一)

ザ・シンフォニーホール Christmas Selection 2020



日本センチュリー交響楽団



大阪から世界へ発信する新しいクラシック音楽

宮崎駿や北野武の映画作品でおなじみの日本を代表する作曲家・久石 譲。国立音楽大学の作曲科で学んだ彼は、「学生当時はクラシック音楽には見向きもせず、前衛音楽にばかり夢中になっていた」が、いつしかクラシック音楽の偉大さを意識し始めたという。その後、2000年に指揮者デビューを飾って以来、この分

野での活躍の場を着々と広げ、ザ・シンフォニーホールにおいても何度も指揮台に立っていることは周知の通り。そしてこの度、2021年4月より日本センチュリー交響楽団の首席客演指揮者に就任することが決定し、直前の今年12月に行われるのが今回の公演という訳だ。

就任に際して彼は、「日本センチュリー交響楽団の皆さんは積極的で、とてもバランスのとれた素晴らしいオーケストラだと思います。そんな楽団でこのようなポジションをいただくのは大変光栄なことです」と意気込んでおり、斬新なプログラムと作品解釈に期待が高まる。

今回前半に演奏されるのは、久石の新作「I want to talk to you」。現時点でどんな作品なのかは不明だが、彼の魅力であるノスタルジックで優美な歌心がどのようになら発揮されるかに注目。しかも今回は弦楽バリエーションの形で披露されるので、その流麗で幽玄な旋律美を心ゆくまで味わいたい。

続く後半の演目に選ばれたのが、モーツァルトの交響曲第41番「ジュピター」。天才アマデウスが最後に残した交響曲にあたり、4つの楽章にあふれる荘厳で輝かしい曲想は、晩年の彼が苦しんでいた病や貧困とは無縁の完全無欠さ。ローマ神話の最高神を意味する「ジュピター」の副題にまさにふさわしい傑作だ。だからこそ、世界各地で現在も演奏と録音が繰り返されており、演奏困難な難

曲になっているのも事実。だが、久石はこの点について、「私は常々、作曲家&指揮者として、過去、現代、未来に繋がるクラシック音楽の在り方を追求していきたいと思っています。作曲家の視点からスコアを見直して現代の解釈として演奏する。そうすることによって聴きなれたクラシック音楽がちょっと違う最新の音楽になると思うのです」とコメント。さらに、「クラシック音楽は古典芸能ではありません。過去から未来に繋がり、時代と共に解釈が変わっていく。そういう演奏をしていきたいと思っています。大阪のお客様が心から応援したくなるようなオーケストラを目指します」とも語っている。今後は関西発信の新しいクラシック音楽が世界中に広まっていくことだろう!!

(文 渡辺謙太郎)

[指揮]久石 譲
 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

モーツァルト:交響曲 第40番 ト短調 K.550
 久石 譲:新作「I want to talk to you (弦楽バージョン)」
 モーツァルト:交響曲 第41番 ハ長調 K.551「ジュピター」

2020.12/23(水) 7:00PM
 S 8,900円 A 7,900円 B 6,900円(税込)
 [お問合せ]リバーティコンサート 06-7732-8771
 [主催]キョードー

発売中

ピアソラ生誕100年記念大型ツアー

Interview

三浦一馬

(バンドネオン)

東京グランド・ソロイスト
in 大阪

ピアソラ・ザ・ベスト



三浦一馬率いる魅惑の室内オーケストラ

©井村重人

間違いなく今までで
最も濃い演奏になる

東京グランド・ソロイスト(以下TGS)は昨年、初めて本拠地・東京を離れてザ・シンフォニーホールで公演を行なった。

「濃密で素晴らしい時間でした。TGS初の遠征公演はとても印象的でした。環境はもちろん、視覚的にも聴こえてくる音も本拠地とはまったく違い、鍛えられました」
来年3月、TGSは再び大阪に戻り、オール・ピアソラ・プログラムに挑む。

「今までのレパートリーから厳選した曲を披露します。本拠地での新しく実験的な試みは他では得難いものですが、さらに深いところへとアプローチできるのは遠征

公演ならではの。今まで我々が演奏した中で最も濃いものになるのは間違いありません」

ジャンルや垣根を越え、多くの人に愛されるピアソラの音楽の魅力をこのように語る。

「聴かずにはいられません!ピアソラの音楽はタンゴという枠に収まらず、タンゴをベースとして、クラシック音楽やロックやジャズのエッセンスも取り入れられていて、多くの人を惹きつける要素が作品のなかにあり、普遍的なんです。彼の音楽は心の奥底へストレートに、本能に訴えかけるメッセージの強さがあると思います」

来年はピアソラ生誕100年というメモリアルイヤーだ。

「土臭さ、男っぽさ、汗臭さ……そんな本家本元のピアソラも、ヨーロッパなどクラシックのワールドにあるピアソラも、どちらも欠くことのできない魅力があります。双方の良さをブレンドさせて、新しいピアソラ像を模索できる年にしたいですね」

TGSの各楽器の首席は、キント(五重奏)のメンバーだ。

「キンテートの形をどこまでも突き詰め、それをスケールアップできる方法はないかと生まれたのがTGSなのです」

バイタリティー溢れる活動を行なうエネルギー源は何なのか?

「編曲をしていると、『なぜ始めてしまったのだろう』と毎年思わなくもないのです。でも、1回目のリハーサルで初めて音を聴いたとき、すべてが報われます。自分で音符を書き、自分で指定したサウンドや想像したものを、メンバーの皆さんがはるかに上回る演奏をしてくれるのです。今までやってきたことは間違いではなかったと誇れる瞬間です」

三浦も、コロナ禍のなかで半年以上、舞台から遠ざかっていた。「満員のお客さまと空気や時間を共有できるあの喜び……来年3月にそれが叶うのであれば、こんなに楽しいことはありません。早く弾きたいですね!」

(取材:文 道下京子)

[バンドネオン]三浦一馬 [ソロ・ヴァイオリン]石田泰尚
[ピアノ]山田武彦 [コントラバス]黒木岩寿、高橋洋太
[ギター]大坪純平 [パーカッション]石川 智 ほか

ピアソラ:リベルタンゴ、ブエノスアイレスの冬、オブリヴィオン、ツイガース・タンゴ、アディオス・ノーノ ほか

2021.3/13(土) 7:00PM

S 6,000円 A 5,000円(税込)

[お問合せ]日本コロムビア株式会社 03-6895-9001

[主催]日本コロムビア株式会社/ザ・シンフォニーホール

先行予約:11/19(木) 一般発売:11/21(土)

美しき 日本のうた 「桜」

あらゆる世代の人の心に
息づき、愛されてきた
春を彩る名曲群

©Nippon Columbia

最高の歌唱による日本の名歌で
遠い記憶が甦る

豊かな四季と自然に育まれ、私たちの原風景として歌い継がれる日本の唱歌や童謡。

2016年から、その数々を届けてきたザ・シンフォニーホールの人気公演「美しき日本のうた」の第5回は、これまで開催していた秋から春に季節を移し、シリーズに初めてソプラノの小林沙羅を迎えて贈る。

小林沙羅は東京都出身。東京藝術大学大学院を経てヨーロッパへ留学し、ウィーンとローマで研鑽を積んだ。2006年、大学院在学中にオーディションに合格し「井上道義の上り坂コンサート」「バステイアンとバステイエンヌ」のバステイエンヌ役でデビュー。以来、東京芸術劇場シアターオペラシリーズに「イリス」の芸者、「トゥーランドット」のリュウ、「こもり」のアデーレ、「メリー・ウィドウ」のヴァランシエンヌと次々に出演。人気、実力ともに日本を代表するオペラ歌手へと成長を遂げた。2015年に初演された野田秀樹演出、井上道義指揮「フィガロの結婚」(2020年再演)ではスザンナ役として全国10都市14公演に出演。関西でも大きな注目を集めたほか、今年1月には美内すずえのコミック『ガラスの仮

面』の劇中劇をオペラ化した『紅天女』でヒロイン阿古夜(紅天女)を歌い、クラシックシーンの内外に話題を呼んだ。昨年暮れにはこザ・シンフォニーホールでの初めてのソロ・リサイタルとなる「ノエル」を開催し、多くのファンを魅了したことも記憶に新しい。

3枚目のCD『日本の詩』では明治以来の日本の作曲家による日本の唱歌、歌曲(谷川俊太郎に詩を委嘱した自作曲も含む)に取り組み、高い評価を収めている。小林沙羅は今、このシリーズにもっともふさわしい歌手と言えるかも知れない。

プログラムには春をイメージした作品の多くが集められた。山田耕筰編による日本古謡『さくらさくら』に始まり、中田章の『早春賦』、岡野貞一の『おぼろづき』など、私たちに遠い思い出を呼び起こすさまざまな唱歌。詩人でもあった評論家の加藤周一の作品に中田喜直、別宮貞雄という作曲

©Nippon Columbia

ソプラノ 小林沙羅

[ソプラノ] 小林沙羅 [ピアノ] 河野紘子

日本古謡(山田耕筰編): さくらさくら/山田耕筰: この道、赤とんぼ、たたえよしらべよ歌ひつれよ/中田章: 早春賦/岡野貞一: おぼろづきよ/團伊玖磨: はる、夕鶴より「与ひよう、私の大事な与ひよう」/小林秀雄: すてきな春に/中田喜直: さくら横ちよう/別宮貞雄: さくら横ちよう/見岳章: 川の流れるように/中村八大: 上を向いて歩こう/いずみたく: 見上げてごらん夜の星を/平井康三郎: 幻想曲「さくらさくら」★/橋本國彦: 舞 ★ピアノソロ

2021.3/20(土) 7:00PM

全席指定 4,400円(税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

家が曲を付けた2つの『さくら横ちよう』も聴きものだ。そしてそんな中に置かれた團伊玖磨のオペラ『夕鶴』より、つうの aria『与ひよう、私の大事な与ひよう』は決して私たちが忘れてはならない大切なものを、強く訴えかけてくるだろう。中村八大の『上を向いて歩こう』や、いずみたくの『見上げてごらん夜の星を』といったテレビ世代の名曲が採り上げられているのも楽しい。

あらゆる世代の人の心に息づき愛されてきた日本の歌が、桜の季節に甦る。それらは小林沙羅の最高の歌唱を得て、私たちの心を鮮やかに彩ることだろう。

(文 逢坂聖也)

古澤 巖×TAIRIK バロックXmas

甘い音色とドラマティックな展開力を備えた鬼才・古澤巖が、人気ユニットTSUKEMENのTAIRIKと4人組バロックアンサンブル「i barocchi」とともに贈りする珠玉のクリスマス公演。

彼は、ストラディヴァリウス「サン・ロレンツォ」を終身貸与されている。1718年製のこの楽器には、製作者自身が「栄光と富は神の家にあり」と刻印しており、特別な想いを込めて作り上げたことが窺われる。

ストラディヴァリウス特有の輝かしく艶のある音色が、いっそう増したこの銘器によって紡がれるヴィヴァルディとピアソラの「四季」。西欧と南米、そして2人の天才作曲家の個性が鮮やかに描き分けられるに違いない！
(文 渡辺謙太郎)

古澤×ストラディヴァリウスの
至高の音色で紡ぐ
バロックの世界

[ヴァイオリン] 古澤 巖
[ヴィオラ] TAIRIK
[アンサンブル] i barocchi (Vn. Vn. Vc. Thrb)

発売中

ヴィヴァルディ:四季/ピアソラ:ブエノスアイレスの四季/ヘンデル:パッサカリヤ ほか

2020.12/10(木) 2:00PM
S 6,000円 A 5,000円(税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[お問合せ] キョードーインフォメーション 0570-200-888
[主催] NHKエンタープライズ中部/ザ・シンフォニーホール



Special Featuring 古澤 巖

Six Unlimited

シックス アンリミテッド コンサートツアー

Concert Tour

～オールスターズの企て～

各界を牽引する奇才が集結

エンターテインメント性溢れる

男たちの音楽の饗宴

日本古来の楽器を用いて独自の世界を開拓中の東儀秀樹。日本有数の打楽器奏者で、名門オルケスタ・デ・ラ・ルス創始者の大儀見元。同じくオルケスタ・デ・ラ・ルス出身で、作曲家の顔も持つ塩谷哲。味わい深く柔軟な音楽性でジャズだけに止まらない活躍をみせる小沼ようすけ。日野皓正・ハンク・ジョーンズら、世界的ジャズ奏者と多くの名演を残してきた井上陽介。そんな彼らと古澤が邂逅するこの公演では、クラシック、ジャズ、ビートルズと多彩な演目が予定されており、実にスリリングなひとときが期待される。前述のクリスマス公演とこの公演を聴くことで、クロスオーバーに活躍する古澤の魅力の神髄がよくわかることだろう!! (文 渡辺謙太郎)

[雅楽] 東儀秀樹 [ヴァイオリン] 古澤 巖
[ピアノ・音楽監督] 塩谷 哲 [ギター] 小沼ようすけ
[パーカッション] 大儀見 元 [ベース] 井上陽介

Spanish Waltz (塩谷 哲) / ビートルズメドレー /
ルーマニアラプソディ (ジョルジュ・エネスク) /
スタンダードジャズナンバーより ほか

2021.2/23(火・祝) 3:00PM
全席指定 7,000円(税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[お問合せ] キョードーインフォメーション 0570-200-888
[主催] NHKエンタープライズ中部/ザ・シンフォニーホール

先行予約: 11/19(木) 一般発売: 11/22(日)



大儀見 元

塩谷 哲

古澤 巖

東儀秀樹

小沼ようすけ

井上陽介



©Takanori Ishii

未来の巨匠がつなぐ

バトンリレー

コンサート

Interview

全4回

Pick Up

Vol.1 アルハンブラの思い出 猪居 謙×松尾俊介
Vol.2 月に寄す 松尾俊介×望月哲也

将来を嘱望されるアーティストが
音楽でつなぐ“バトン”で関西音楽界を活気づける

「残響2秒」の空間で
ギターの魅力が全開になる

関西ゆかりの音楽家がバトンをつなぐコンサート。「リレー」の第1走者として光栄に思います」と、大阪を拠点に活動するギタリストの猪居謙は目を輝かせる。

「コロナ禍で演奏の場を失う日々が半年以上も続く中、我々にとって憧れのホールから声をかけていただいた。今まで抑制されていたものを一気に放出する、凝縮されたステージになると思います」

共演相手は京都出身の松尾俊介。

彼らは共に日本を代表するギタリスト福田進一の門下生で、交友関係は20年以上に及ぶという。

「初対面るとき松尾さんは高校生、僕は小学生。それからずっと年齢差を超えて刺激し合う仲でした。音楽を緻密に作り上げるところに、うまいバランスで力強さとパワーを兼ね備える松尾さんは、僕が理想とするギタリストの1人です」

そんな両者のデューオ・コンサートは、意外にも3年前が初舞台。今回はそれ以来の共演となる。

「弾いていても安心感は抜群でしたね！ロドリゴの『トナディーリャ』とアルベニスの『アストウリアス』は前回とも共通しますが、あとは全部が僕たちにとって初の演目。聴きやすいプログラムですが、内容は濃い。音響の素晴らしいホールで、ギターの魅力が全開になると思います」

こう語る猪居謙の言葉に、応える松尾俊介も、自信満面の表情だ。

「それもギター2台の場合、音域面の自由度も飛躍的に高まるし、表現力に至っては2倍どころではありません。『愛のロマンス』や『アルハンブラの思い出』のようにギターソロの代名詞的な作品も二重奏で新鮮に響くはずですよ。そしてスペインの作曲家の、ギターの音使いをモデルとしたピアノ曲やオーケストラ曲が、彼らの発想の源となった、いわばオリジナルの形で再現さ

れる面白さも味わっていただけます」

リレーの第2走者として、松尾がバトンを渡しながらシューベルトを奏でる相手がテノール歌手の望月哲也。コンサートのメインを飾るのは、松尾自身の編曲による「白鳥の歌」のギター伴奏版だ。これが関西での初披露となる。

「2019年に望月さんと初演するまで前例のない編曲は試行錯誤の連続でした。どのように歌との関係性を

保ち、原曲のニュアンスを生かすか

……。そのギターの響きのサイズ感の中でドラマを歌い上げる術を望月さんは熟知しているので、大ホールでも無理なくシューベルトの世界が再現できます。コロナ禍で実演の場から遠ざかってみて、そんな世界を聴衆の方々と分かち合う、相互作用のコミュニケーションの持つ意味を、改めてかみしめる思いですね」（取材・文 木幡一誠）

Pick Up

Vol.1 アルハンブラの思い出

2020.12/13(日) 2:00PM

[ギター]猪居 謙、松尾俊介

伝ルビーラ(タラゴ編):愛のロマンス(映画「禁じられた遊び」のテーマ)/タレガ(サクレラス編):アルハンブラの思い出/モリコーネ(鈴木大介編):ニュー・シネマ・パラダイス/ロッシーニ(M.ジュリアーニ編):オペラ『泥棒かざさき』序曲/ファリャ:粉屋の踊り〜バレエ音楽『三角帽子』より/宮野祐悟:幸福の硬貨〜映画『マチネの終わりに』より(猪居 謙ソロ)/モノー(ディアンズ編):愛の賛歌(松尾俊介ソロ)/アルベニス:アストウリアス〜スペインの歌op232より/ロドリゴ・ゴトナディーリャ ほか

Pick Up

Vol.2 月に寄す

2021.1/24(日) 2:00PM

[ギター]松尾俊介 [テノール]望月哲也

シューベルト(松尾俊介編):月に寄す D 193/シューベルト(ラゴスニック編):羊飼いの嘆きの歌 D 121/シューベルト(ラゴスニック編):野ばら D 257/シューベルト(ディアベリ編):魔王 D 328/シューベルト(松尾俊介編):白鳥の歌(全曲)D 957

Vol.3 星は光りぬ

2021.2/25(木) 7:00PM

[テノール]望月哲也 [ピアノ]田村 響

プッチーニ:オペラ『トスカ』より 星は光りぬ/ドニゼッティ:オペラ『愛の妙薬』より「人知れぬ涙」 ほか

Vol.4 ロマンس

2021.3/15(月) 7:00PM

[ピアノ]田村 響 [ヴァイオリン]石上真由子

ブラームス:メロディのように/クララ・シューマン:3つのロマンス op.22 ほか



猪居 謙

松尾俊介
©Takayuki Shimizu望月哲也
©FUKAYA
Yoshinobu auraY2田村 響
©武藤 章

石上真由子

[各日] 4,000円(全席指定・税込)

[4公演通し券]限定50席スペシャルシート 16,000円(全席指定・税込)

※通し券は、ザ・シンフォニー チケットセンターで、お電話のみでのお取り扱いとなります。

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 [主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

東京佼成ウインドオーケストラ Presents

課題曲コンサート2021

~往年の名曲とともに~

©K.Miura

指揮 大井剛史



©Atsushi Yokota

東京での公演は全席完売の人気企画
日本トップクラスの演奏で、2021年度課題曲を全曲披露!

「課題曲」だけで構成された
コンサート!

東京佼成ウインドオーケストラ (TKWO) の人気企画「課題曲コンサート」が、大阪で開催される。全日本吹奏楽コンクールの課題曲だけで構成された、ユニークなコンサートだ。

TKWOは、すでに1980年代には課題曲のクリニックを開催していた。だが、過去の名課題曲なども含む、本格的な「コンサート」形式になったのは、大井剛史の正指揮者就任後、2017年以降のことだ。

しかも、プロ吹奏楽団がその年の課題曲を演奏する、ほぼ最初の機会とあって、毎年、チケットが完売する人気ぶり。マエストロ大井による解説も大好評だ。

コンクール課題曲は、毎年、主催



者からCDやDVDの「参考演奏」が頒布される。演奏は、TKWOとOsaka Shion Wind Orchestraが2年ずつ交代で担当している。今回演奏される来年度(2021年度)の課題曲は、新型コロナウイルスで中止となった2020年度の課題曲がそのまま採用されており、「参考演奏」は、Shionだった。それを今回は、TKWOがライブで演奏するわけで、まさに、東西2大プロ吹奏楽団による競演のようなおもむきがある。

このコンサートの魅力は、最新課題曲のみならず、リクエストをもとにした過去の名課題曲が演奏される点にもある。

たとえば今回は、課題曲人気投票で必ず上位に入る1987年度の名曲《風紋》が演奏される。作曲者で日本音楽界の重鎮、保科洋は、TKWO創立60年の記念委嘱作品《交響曲第3番》を発表したばかりである。岡山大学交響楽団を日本有数の大学オーケストラに育てたほか、兵庫教育大学でも長く教鞭をとった、関西にはなじみの深い作曲家だ。

また、今回はさらにボーナス企画がある。2021年に生誕100年を迎える、吹奏楽の神様、アルフレッド・リード(1921〜2005)の名曲群から、課題曲と

して採用された2曲が演奏されるのだ。ともに昭和40年代、日本の吹奏楽が隆盛の道を辿り始めた時期を象徴する、思い出の課題曲とあって、オールドファンには絶好の贈り物になるだろう。

TKWOは、ザ・シンフォニーホールで、すでに過去5年にわたって大阪定期演奏会を開催して人気となっているが、「課題曲コンサート」は、初めてである。ぜひこの機会に、関西の吹奏楽ファンにも「課題曲」だけで魅力的なコンサートが成立することを知っていただき、存分に楽しんでいただきたい。

(文 富樫鉄火/音楽ライター) 《敬称略》

[指揮]大井剛史 [吹奏楽]東京佼成ウインドオーケストラ

2021年度 全日本吹奏楽コンクール課題曲(全曲) (平山雄一:トイズ・パレード/佐藤信人:龍潭譚/宮川彬良:僕らのインベンション/宮下秀樹:吹奏楽のための「エール・マーチ」/尾方淳斗:吹奏楽のための「幻想曲」-アルノルト・シェーンベルク讃)/~祝・アルフレッド・リード生誕100周年~(音楽祭のプレリュード/シンフォニック・プレリュード)/~みなさまのリクエストから~(田坂直樹:マーチ「プロヴァンスの風」/鶴沢正晴:イリュージョン/保科 洋:風紋) ほか

2021.2/15(月) 7:00PM

一般 3,500円 学生(高校生以下) 2,500円 (税込)

[お問合せ]東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

[主催]佼成文化協会 東京佼成ウインドオーケストラ/ザ・シンフォニーホール

先行予約:12/3(木) 一般発売:12/7(月)

プロジェクションマッピング×パイプオルガン 超絶のボヘミアン・ラブソディQUEEN×ABBA

チケット完売ながら延期となった大好評企画
振替公演がいよいよ実現!

[オルガン]大木麻理

[QUEEN] I WAS BORN TO LOVE YOU★/WE WILL ROCK YOU/DON'T STOP ME NOW/BOHEMIAN RHAPSODY★ [ABBA] MAMMA MIA★/DANCING QUEEN★/VOULEZ VOUS★/LAY ALL YOUR LOVE ON ME ★プロジェクションマッピング付き

2021.4/24(土) 2:00PM/7:00PM

※休憩なし。約60分間のコンサートです。※4歳以上のお子様からご入場可能です。

全席指定 各3,000円(税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:11/19(木)

一般発売:11/22(日)



「スター・ウォーズ」といった有名な映画音楽がパイプオルガンの荘厳な響きとプロジェクションマッピングの華麗な映像世界で堪能できるザ・シンフォニーホールの毎夏恒例の人気コンサート「超絶のスター・ウォーズ」だが、来春、お送りするのは、一昨年、全世界で大ヒットした洋画『ボヘミアン・ラブソディ』でおなじみの英バンド、QUEENと、スウェーデンのポップグループ、ABBAのヒット曲で綴る「超絶のボヘミアン・ラブソディ QUEEN×ABBA」だ。チケットは完売していたが、新型コロナウイルスの感染拡大で一旦中止に。開演を望む声が高まっていた。

1970年代から80年代に大活躍したQUEENとABBA。意外な組み合わせに思うが、実は意味があるのだ。QUEENは、ブルースといった米黑人音楽ではなく、欧州のクラシック音楽やオペラの影響を多分に受けていた。ABBAも同じで、代表曲「DANCING QUEEN」(1976年)は一聴すると普通のポップ曲だが、オペラの影響も感じられる。今回の公演では、欧州のロック音楽やポップスとクラシック音楽との切っても切れない関係が明らかに。なると共に、互いの持ち味が新たな形で楽しめること間違いなし。両者のヒット曲に隠された真の魅力をわれわれに伝えてくれる。

(文) 産経新聞大阪文化部 編集委員 岡田敏一

荒 庸子 チェロ・リサイタル 2021 珠玉のシネマ名曲SELECTION Vol.7 モリコーネに思いをよせて

巨匠モリコーネの映画音楽をチェロの音で
クラシックにも触れられる恒例リサイタル

[チェロ]荒 庸子 [ピアノ]山田武彦

モリコーネ:『ニュー・シネマ・パラダイス』より「愛のテーマ」、『海の上のピアニスト』より「愛を奏でて」、『ミッション』より「ガブリエルのオーボエ」、『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ』より「テーマ曲」、『アンタタッチャブル』より「テーマ曲」、『マレーナ』より「テーマ曲」/パラディス:シシリアーノ/シューマン:『子供の情景』より「トロイメライ」/サン＝サーンス:白鳥/ブルッフ:コル・ニドライ

2021.2/12(金) 7:00PM

全席指定 4,400円(税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



チェリストの荒庸子が愛してやまない映画音楽とクラシックを組み合わせ、音楽ファンがコアな部分を楽しみながら他ジャンルにも触れられる「珠玉のシネマ名曲SELECTION」。「早春恒例の人気シリーズで、7回目の開催を迎える。

今回は、2020年7月に91歳で逝去した映画音楽の巨匠エンニオ・モリコーネの至高の映画音楽を中心とした曲目が並ぶ。オールドファンのみならず世代を超えて愛される映画「ニュー・シネマ・パラダイス」より「愛のテーマ」や、『海の上のピアニスト』より「愛を奏でて」などの名曲はこれまでも披露し続けてきたが、今回はひとしおの美しさ感慨を湛えて聴き手の心に届いていくだろう。

セリフの代わりにメロディで感情の動きを表現し、観るものを感動させる映画音楽。音楽のパワーはとて大きい」と語る荒は、他にも『アンタタッチャブル』や『マレーナ』のテーマ曲も演奏するので楽しみだ。

回を重ねるごとに進化を続け、リピーターも多いこのシリーズ。共演するピアニスト 山田武彦も7年連続の出演となる。この二人だからこそ実現できるアレレンジ、アドリブ演奏が毎回お客様の心を掴むことも人気のポイント。チェロの甘く、ときに切なくなるような心地よい音色に身をゆだね、思い出の音楽に想いを寄せる…穏やかに、そして優しい気持ちになれる夜のひとときを存分に楽しんでほしい。

プロジェクションマッピング×パイプオルガン 新 超絶のスター・ウォーズ

あの名曲とともに、めくるめく映画の世界へ

発売中

[オルガン]大木麻理

「インディ・ジョーンズ」より レイダース・マーチ／「ハリー・ポッター」より メドレー★～プロローグ～ハリーの不思議な世界～ヘドウィグのテーマ～「E.T.」より フライング・テーマ／「ジョーズ」より メイン・タイトル／「ジュラシック・パーク」より テーマ★／「スター・ウォーズ」より メドレー ★～メイン・タイトル～帝国のマーチ～レイア姫のテーマ～王座の間とフィナーレ～「バック・トゥ・ザ・フューチャー」より テーマ★／「パイレーツ・オブ・カリビアン」より メドレー★ ★プロジェクションマッピング付き

2021.1/30(土) 2:00PM/7:00PM

※休憩なし。約60分間のコンサートです。※4歳以上のお子様からご入場可能です。

全席指定 各3,000円(税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 [主催]ザ・シンフォニーホール



パイプオルガンを取り巻く巨大な空間に眩いばかりの星々が現れ、あの有名なイントロに乗って、客席は一気に宇宙空間へ迷い込む。

ザ・シンフォニーホールの大人気「超絶シリーズ」の初作として、世代を問わずご好評頂いてきた「超絶のスター・ウォーズ」が、全曲をリニューアルして再び登場！表題作のほか、「インディ・ジョーンズ」、「ハリー・ポッター」、「パイレーツ・オブ・カリビアン」など、巨匠ジョン・ウィリアムズが手掛けた映画音楽を盛りだくさんでお届けする。演奏は、ブクステフデ国際オルガンコンクールで日本人初の優勝を果たした大木麻理。ウィリアムズの重厚でドラマティックな名曲の数々と、大木の奏でる荘厳なパイプオルガンの音色の奇跡のマリアージュをぜひ味わって頂きたい。

また、オリジナルのプロジェクションマッピングがこのシリーズの最大の見どころの一つで、ダイナミックな音楽に合わせて、めくるめく映画の世界が眼前に広がる。宇宙の旅、大航海、恐竜の世界に、タイムスリップ。物語を五感で楽しめる、まさにアトラクションのようなコンサート。4歳以上からご入場頂けるので、遊園地に行くように家族で出かけるのにもぴったりだ。

富田一樹(バッハ国際コンクール優勝) バッハ名曲決定版2021

聴く者にまたとない喜びの時間を約束する
神業ともいえるようなバッハ独特の響き

[オルガン]富田一樹

前奏曲とフーガ イ短調 BWV543／お人よ、汝の罪の大いなるを嘆け BWV622／「マルチェッロのアダージョ」(オーボエ協奏曲より第2楽章) BWV974-2／前奏曲とフーガ ハ長調 BWV531／トリオ 二短調 BWV583／主よ、人の望みの喜びよ BWV147／パッサカリア ハ短調 BWV582

2021.2/27(土) 7:00PM

全席指定2,200円(税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



ホールを揺るがせて壮麗に鳴り渡るオルガン。2016年、ライプツィヒで行われたバッハ国際コンクールのオルガン部門で、日本人初の優勝者となった富田一樹による「バッハ名曲決定版」が2021年2月に開催される。これは今年3月に予定されながら、新型コロナウイルスの影響で中止になっていた公演を再企画したもので、ファンにとっても、そして富田自身にとってもまさに「待望の」と呼べるコンサートだ。

曲目はJ.S. バッハが20代から30代にかけて、オルガニスト、作曲家として充実した活動を行っていた時期の作品を厳選したもの。合唱音楽としても有名な「主よ、人の望みの喜びよ」やマルチェッロのオーボエ協奏曲を編曲した「マルチェッロのアダージョ」など、親しみ易い作品にも触れながら、終曲の「パッサカリア ハ短調」では神業ともいえるようなバッハ独特の響きへとたどり着く。低音主題の反復の上を右手、左手の各声部が駆け巡り、やがて巨大なフーガが幾重にも連なるように展開されてゆく様子は、富田自身のバッハへの深い敬愛と理解に支えられて、聴く者にまたとない喜びの時間を約束するものとなるだろう。

富田が「これを弾くことはいつも楽しみ」と語るスイス、クーン社製のパイプオルガン。その音色を駆使しながら、若きオーソリティが満を持して放つ新時代のバッハ演奏に期待したい。

(文 逢坂聖也)

石田泰尚 ヴァイオリン・リサイタル 2020

横浜が生んだ硬派ヴァイオリニストが
端正ながら力強く情熱的な演奏で魅了する!

[ヴァイオリン] 石田泰尚 [ピアノ] 山中惇史

ドヴォルザーク: ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ ト長調 op.100 B.183 / フランク: ヴァイオリン・ソナタ FWV8 M8 イ長調 / クライスラー: テンポ・ディ・メヌエット、シンコペーション、ウィーンの小さな行進曲 / ピアソラ: アディオス・ノニーノ、フラカナーバ、天使のミロンガ、現代のコンサート、ル・グラン・タンゴ

2021.1/15(金) 7:00PM [2020.6/13の振替公演]
全席指定 3,300円 (税込)

[お問合せ] テレビマンユニオン音楽事業部 03-6418-8617

[主催] テレビマンユニオン / ザ・シンフォニーホール

発売中



ヴァイオリン 石田泰尚

©Fumiaki Fujimoto

剃り込みの入った坊主頭にサングラスというルックスがあまりにも印象的だが、その音色はまさにイメージ通りの力強い硬派。2001年から神奈川フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを務め、バンドネオンの三浦一馬率いる東京グランド・ソロイスツ(TGS)の主要メンバーとしておなじみ。石田泰尚が、ザ・シンフォニーホールで初リサイタルを行う。当初は今年6月に開催予定だったが、コロナ禍で延期となり、2021年1月に振替公演として実現した形だ!

共演のピアニストは、作曲や編曲でも活躍中の若き名手・山中惇史。前半にはドヴォルザークのソナチネとフランクのソナタという本格的なクラシック作品を演奏し、神奈川フィルでも度々取り上げている2人の作曲家の魅力と真髄を存分に披露。続く後半では、音符が優美に踊るクライスラーの小品と、TGSの十八番でもあるピアソラの傑作を多数お届けする。石田は過去に、「色々な時代やジャンルの音楽を組み合わせると、弾き手はもちろん、聴き手も面白いと思って」と語っており、今回の選曲もまさにその言葉の体現と言えるだろう。

彼は毎日計画的にこつこつと長時間練習する几帳面な性格だそうで、だからこそ前述の力強く硬派な演奏が、正當かつ洗練された形で表現され、多くのファンから支持を得ている。そんな彼の妙技を今度こそお聴き逃しなく!!

(文 渡辺謙太郎)

ニューイヤー祝祭コンサート2021 オペラアリアとバレエの饗宴

[バレエ] 針山愛美、脇塚 優、カンパニーでこぼこ

[ソプラノ] 平井富司子、末廣亜矢子、九鬼桂子、中村あゆみ、中井祥子

[メゾソプラノ] 星野隆子 [ピアノ] 服部直士 [ヴァイオリン] 井口華奈 ほか

[指揮] 守山俊吾 [管弦楽] ニューイヤー祝祭オーケストラ

[バレエ] グラズノフ: ライモンダ / シュトラウス: 美しき青きドナウ

[オペラ・アリア] ブッチーニ: 歌劇「トスカ」より「歌に生き、恋に生き」 / ジョルダノ: 歌劇「アンドレア・シェニエ」より「亡くなった母を」 / モーツァルト: レチタティーヴォとアリア「どうしてあなたを忘れられよう...心配しないで、愛する人よ」K. 505 ほか

2021.1/3(日) 2:00PM

S 6,000円 A 5,000円 B 3,000円 (税込)

[お問合せ] ミュージック・アート・ステーション 06-6836-7067

[主催] 国際交流協会

発売中

2021年は「バレエ」と
「オペラ」で幕開け!



第6回目を迎えるこのコンサート。ニューイヤーに相応しく華やかなオペラの名アリアや、気品と美しさに充ちたバレエが始まります。

今回メインを務めるバレリーナの針山愛美は、パリ国際コンクール銀メダルほか、国際的なコンクールで優秀な成績をおさめ、ボストンバレエ団やベルリン国立バレエ団で活躍してきたバレエ界のミューズ。また、相手役に前回のローザンヌ国際バレエコンクール4位の脇塚 優が登場。彼らの華麗な身体表現をオーケストラの演奏とともに楽しめたい。

ニューイヤーに相応しい、ノブるな円舞曲「美しき青きドナウ」は宮殿の中の舞踏会のように華やかです。また、ロシアの作曲家のグラズノフによるバレエの不朽の名作「ライモンダ」は、美しいライモンダ姫と婚約者ジャン・ド・ブリエンヌの恋物語。「カンパニーでこぼこ」が躍動する身体美で魅せてくれます。

オペラ・アリアと歌曲はイタリアやロシアで認められた平井富司子ほか、世界の舞台で活躍する歌手達がブッチーニからモーツァルトまでの名作を歌いつぎ、様々な国の人類愛の姿を歌でお届けいたします。

ヨーロッパとロシアでオペラ・バレエを指揮し、アメリカのオーケストラとの共演も続く守山俊吾と、毎年恒例の特別編成のオーケストラの演奏で、お正月「三が日」のひと時をお楽しみください。